

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろStudy2nd(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の支援内容の充実化。	モニタリングや送迎時の申し送りの時に保護者の要望を聞き取り、また学校で受けている支援や、発達検査の結果からこちらでできる支援内容を考えて実施している。	支援内容の見直し・改善を繰り返し行い、今後もより良い支援を提供していけるように日々研鑽してまいります。
2	施設の清潔な環境。	毎日の清掃、療育に必要なものは指導室に置かないようにしている。 学習後の利用者と一緒に机上の環境を整えるようにしている。	心地よく学習に取り組めるように、これからも環境を整えていけるよう心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の避難方法、訓練の実施や各種マニュアルの周知不足。	定期的の実施し、SNSで様子を更新しているが、いつ・どのように行われているか、保護者の方に伝わっていないこと。	実施時に利用していた利用者にはその時の様子を文章や写真で個別でお伝えする。 これまで通り、SNSで訓練を実施したことを公表する。
2	全職員のコミュニケーションが不足していること。	社員・パート・ドライバーそれぞれ出勤時間が違うため、全員そろっての申し送りが難しくなっている。	当日の流れは可視化してわかりやすく伝える。 見てわかるようにしていても必ず声をかけて流れと一緒に確認する。 気になることが疑問点がないか、その場で確認するようにする。
3	他の利用者に関わる時間が少ないこと。	学習がメインであること、また療育時間が短時間のため、他の利用者に関わる時間が限られている。	コミュニケーションが気になる利用者に関しては土曜日の生活療育の時間を利用して、他の利用者に関わる機会を作っていく。